

平成28年11月28日

ハウステンボスグループ  
平成28年9月期の業績について

ハウステンボス株式会社（本社：長崎県佐世保市）とグループ会社の平成28年9月期の連結業績は以下の通りとなりました。

## 【平成28年9月期のグループ連結業績】

(平成27年10月1日 — 平成28年9月30日)

単位：百万円

ハウステンボスグループ	前期 2014年10月～2015年9月	当期 2015年10月～2016年9月	差異	前年比
取扱高	34,711	33,849	-862	97.5%
売上原価	8,353	8,400	47	100.6%
売上総利益	26,358	25,449	-909	96.5%
販売費および一般管理費	17,173	17,946	773	104.5%
営業利益	9,185	7,503	-1,682	81.7%
経常利益	10,450	6,183	-4,267	59.2%
税金等調整前当期純利益	10,390	2,539	-7,851	24.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,668	2,733	-3,935	41.0%

- \* ハウステンボス株式会社、株式会社ラグーナテンボス、ハウステンボス技術センター株式会社、エイチ・テイ・ビー観光株式会社、HTB エナジー株式会社、HTB クルーズ株式会社、テンボスクルーズパナマ SA の6社計。
- \* 営業外費用に為替評価損を2,079百万円計上しています。また特別損失として所有船舶減損処理額3,535百万円を計上しています。
- \* 前期の数値は簡易的な連結処理をしています。

## 【平成28年9月期のハウステンボス株式会社（単独）業績】

(平成27年10月1日 — 平成28年9月30日)

- ・ 入場者数 2,894千人（前期比 93.1%）
- ・ 内 海外客数 205千人（前期比 81.1%）
- ・ 宿泊者数 307千人（前期比 91.2%）

単位：百万円

ハウステンボス(単独)	前期 2014年10月～2015年9月	当期 2015年10月～2016年9月	差異	前年比
取扱高	29,720	28,602	-1,118	96.2%
売上原価	6,615	6,375	-240	96.4%
売上総利益	23,105	22,227	-878	96.2%
販売費および一般管理費	14,186	14,646	460	103.2%
営業利益	8,918	7,580	-1,338	85.0%
経常利益	9,270	6,551	-2,719	70.7%
税引前当期純利益	9,227	3,810	-5,417	41.3%
当期純利益	6,058	2,076	-3,982	34.3%

- \* 営業外費用に為替評価損を1,503百万円計上しています。また特別損失としてHTBクルーズ(株)に対する債権および株式の評価損2,632百万円を計上しています。

## 【ハウステンボス株式会社（単独）財産状況について】

単位：百万円

	2015.9末	2016.9末		2015.9末	2016.9末
流動資産	17,391	17,465	流動負債	4,933	3,235
固定資産	17,415	17,500	固定負債	2,514	2,290
繰延資産	0	0	純資産	27,359	29,439
資産合計	34,806	34,965	負債・純資産合計	34,806	34,965

## 【ハウステンボス㈱営業概況について】

15年ぶりに入場者数が300万人台に回復する結果となった前期に引続き、当期においても「花の王国」「光の王国」「音楽とショーの王国」「ゲームの王国」「健康と美の王国」と5つのイベント軸を中心に展開するとともに、第6の王国「ロボットの王国」をオープンし3世代でお楽しみいただけるオンリーワン・ナンバーワンのコンテンツを展開しハウステンボスの体験価値の向上に注力しました。加えて、昨年7月に第1期72室が開業した世界で初めてロボットがメインスタッフを担う「変なホテル」も3月には第2期72室が竣工しグランドオープンを迎えています。開業当初より世界中から高いご注目とご関心をいただき生産性の向上と高稼働率での運営を実現しています。

この様な取り組みにより第2四半期までは入場者数は前年同期比97.9%の1,568千人とほぼ昨年と同水準を維持しておりましたが4月に発生した熊本地震の風評被害により4月以降は前年実績を下回る状況が続き、第3四半期の累計入場者数は前年同期比92.0%の2,102千人で終了していました。

一方、7月からは「海上ウォーターパーク」が初登場。例年ご好評いただいている「水の王国」もバージョンアップに加え夜間の営業「ナイトプール」を実施し多くのお客様にハウステンボスの新たなご来場目的として認知いただきお楽しみをいただきました。また第6の王国「ロボットの王国」も同じく7月にグランドオープンし夏休みの主客層であるご家族連れのお客様を中心にロボットの世界観をご堪能いただいています。これらの新規展開により7月以降の入場者数は回復傾向を示したものの当期累計の入場者数は前年同期比93.1%の2,894千人で終了しております。

取扱高も同様に震災の影響を色濃く受けたものの上記積極展開と大阪城においても「大阪城ウォーターパーク by ハウステンボス」を初開催し期間中15万人のお客様にご来場をいただくなど活況を呈したことにより前年同期比96.2%の28,602百万円と大きく落ち込むことはなく昨年実績に近い水準となりました。営業利益は同85.0%の7,580百万円、経常利益は為替評価損1,664百万円を営業外費用に計上（前年同期は123百万円の為替差益を計上）した結果、同70.7%の6,551百万円となりました。

尚、連結子会社TEN BOSCH CRUISE PANAMA S.A.が所有している船舶について収益性の低下による減損の兆候が認められたことから、将来の回収可能性を検討した結果、同社の親会社であるHTBクルーズ㈱に対する債権および株式の評価損2,632百万円を第2四半期終了時点で特別損失に計上しています。結果、当期純利益は同34.3%の2,076百万円となりました。

【ハウステンボス株式会社(単独) 平成29年9月期通期業績見通しについて】

- ・ 入場者数 341万人 ( 前期比 117% )
- ・ 売上高(取扱高) 328億円 ( 前期比 114% )
- ・ 営業利益 100億円 ( 前期比 131% )

《ニュースリリースについてのお問い合わせ先》  
ハウステンボス株式会社 経営企画室 高田・中野・牟田  
TEL 0956-27-0138 FAX 0956-27-0025  
<http://www.huistenbosch.co.jp>